

授業科目名		開講 年次	開講 期間	単位数	授業 形態
ケアシステム論		1	後期	2	講義 30時間
担当教員	長江弘子、田中美恵子、大野知代、岡本明美、久保幸代、栗栖千幸、川上裕子、松丸直美				
授業概要	地域における包括的ケアを実現するための原理と基本的考え方を学び、既存の事例について分析・考察する。また、実際に必要と考えられる状況について、システム構築をシュミレーションしてみる。それらを通して、その事例の課題と今後の展開について、継続的・実効的な活動になるための検討を行う。				
到達目標	1. 地域包括ケアシステム構築に必要な基本的知識・理論を習得する。 2. 地域におけるケアコーディネーターとして、保健医療福祉関連職の専門性に基づき、調整・総合を行い、組織的にケア提供システムを機能させる概念や仕組みを理解できる。 3. 地域包括ケアシステムとしての地域資源のデザイン・活用・開発ができる。 4. 地域包括ケアシステムの質向上に必要な政策等について提言できる。				
履修条件	特になし				
授業計画	回	内容			担当教員
	1	地域包括ケアシステムの構成要素と基本理念や概念の理解			長江
	2	地域包括ケアシステムの構築・評価過程			長江
	3	地域包括支援センター・地域ケア会議の運営と評価			長江
	4	モデル地域にみる地域包括ケアシステムと課題			長江
	5	地域包括ケアシステムの展開と課題：高齢者ケア			川上
	6	地域包括ケアシステムの展開と課題：成人慢性疾患患者のケア			岡本
	7	地域包括ケアシステムの展開と課題：精神疾患患者のケア			田中・松丸
	8	地域包括ケアシステムの展開と課題：小児慢性疾患患者のケア			大野
	9	地域包括ケアシステムの展開：事業所・学校におけるケア			川上
	10	地域包括ケアシステムの展開：母子のケア			久保
	11	地域包括ケアシステムの展開と課題：在宅療養患者のケア			栗栖
	12	事例検討：地域包括ケアシステムの展開と課題			栗栖
	13	事例検討：地域包括ケアシステムの展開と課題			栗栖
	14	課題：地域包括ケアシステムに関する研究の動向			栗栖
15	発表：地域包括ケアシステムに関する研究の動向			栗栖	
教科書	特に指定しない				
参考書	毎回の授業で、次回授業のテーマに沿って提示する。				
評価方法・基準	授業に対する準備状況や授業中の発言内容等による評価(40%) 各学生の専門領域における地域ケア課題のレポート内容を基に成績を評価する(60%)				
事前・事後学習	事前学習：事前に提示する課題・資料等を予習して授業に臨む。また、各単元の事前学習を行い意見交換ができるようしておく。 事後学習：授業での学習内容を自己学習により深め、課題レポートに反映させる。				
備考	特になし				